万葉集

読み人知らず

紅の浅葉の野良に刈る草の

束の間も吾を忘らすな

上水内郡豊野町浅野神社

柿本人麻呂

浅野葉に立ち神さぶる菅の音の

ねもころ誰が故吾が恋ひなくに

上水内郡豊野町浅野神社

常陸娘女

庭に立つ麻手刈りし布さらす

東女を忘れたまふな

上水内郡鬼無村歴史民族資料館

読み人知らず

中麻奈にうきをる船のこきてなは
あふことかたしけふにしあらずは

長野市柳原中俣公民館

読み人知らず

人みなことはたゆともはにしなの
いしゐのてこが古とな絶曾根

更埴市倉科石杭小字小屋大日堂

読み人知らず

人皆の言は絶ゆとも埴科野
石井の手児が言な絶えそね

更埴市倉科石井倉科公民館

読み人知らず

信濃なる千曲の川の細石も

君し踏みては玉と拾はむ

更科郡上山田温泉昨夜屋旅館

大伴家持

春の苑紅にほふ桃の花

下照る道に出でたつをとめ

更科郡上山田住吉の里住吉公園

読み人知らず

住吉の岸を田に墾り蒔きし稲の

さて刈るまでに逢はぬ君はも

更科郡上山田住吉の里住吉公園

読み人知らず

信濃なるちくまの川のさゝねしも

きみしふみては玉とひろは舞

更級郡上山田下河原万葉橋